

児童発達支援評価表

事業所向け

- ★ 配布14名(常勤・非常勤、事務員含む)、回収12名、回答率86%
- ★ 勤続平均4.5年

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など	改善策
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	1	0	・個別療育の部屋が少ない。流しがある多目的室でパーテーションで仕切って個室にしている。	3階の個室を1つ貸していただけないか、交渉中。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	2	0	・直接支援に必要な人数は確保できているが、間接業務、休憩時間の確保を業務時間内で行う余裕が必要。 ・児の状態によっては足りないと思われるところがある。	人数を増員するための方法としては、常勤換算で非常勤スタッフの増員が現実的である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	4	0	使えるものは使っても良いが、古すぎる消耗品は潔く、買い替えたほうが良い。(おもちゃ、絵本、備品等) ・裸足のトイレが気になる。 ・日々、される頻度の多い場所は消毒している。	昨年度に、修理品を入れる箱を用意して実施した。修理できない消耗品については、感覚に個人差があるため、一旦よけて2名以上で検討して処分。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	1	0	・今後もクラス会議を実施することで、非常勤スタッフと情報をより共有していくことが必要。 ・振り返りの機会が乏しい。 ・非常勤との連携に工夫が必要。 ・年2回の振り返り報告がある。	非常勤スタッフ発信でクラス会議が始まった。今後も継続したい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	0	0	・保護者の皆さんがどれだけ本音を書いているかは心配。 ・細かいところはわからないが、なされていると思っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	3	1	Hpでは、随時更新中と言う感じのものは見たことがない。(自分が確認できていないのかもしれませんが)	ブログで新しい情報を発信できるため、必要な情報や載せてほしい情報を挙げてほしい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	0	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1	1	・常勤はできていると思う。 ・様々な研修に参加できる機会が与えられている。 ・新任以外の機会が乏しい。 ・なされていると思う。	都研修に計画的に参加する。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	0	0	・個別面談なので、ニーズを詳しくリサーチしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5	2	・スタッフ個々の力量に左右されている。	アセスメントをするための資料は参考資料に提示しているが、新規にアセスメントシートを作成したため、今後はこれを活用していく。

児童発達支援評価表

事業所向け

- ★ 配布14名(常勤・非常勤、事務員含む)、回収12名、回答率86%
- ★ 勤続平均4.5年

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	2		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	0	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	0	・その時の子どもたちの興味に合わせた内容を工夫している。(キャラクター等)	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12	0	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1	0	・朝礼や朝のミーティングなどで確認している。 ・送迎に出してしまうと、できないことも多い。 ・グループ活動時、細かいところまで伝えないで進めていた。	朝礼ノートを活用。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	0	0	・なるべくクラス全員で振り返りを行い、共有に努めている。 ・夕方まで忙しい場合には、朝の時間帯を活用。 ・面談等があるとできないことも多い。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	・振り返りは記録をつけ、日々検証、改善している。 ・クラスによって(人によっても)差はあると思う。	
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1	1		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	5		多摩市で単一サービスの利用者はセルフプランのため、サービス担当者会議はない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	0	1	・なされていると思う。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	7		医療ケアが必要なお子さんが利用していた時もあるが、保護者と看護師・担任で、こまかく検討をしながら支援し、行政機関には全て報告を行った。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	5		医療ケアが必要なお子さんが利用していた時もあるが、保護者と看護師・担任で、こまかく検討をしながら支援し、医療機関等との連携が必要な場面はなかった。

児童発達支援評価表

事業所向け

★ 配布14名(常勤・非常勤、事務員含む)、回収12名、回答率86%
★ 勤続平均4.5年

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	0	0	・なされていると思う。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	0	0	・なされていると思う。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	1	・機会はもっと増えても良いと思われる。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3	0	・全年齢ではやっていないが、公園遊びや散歩のときに少し関わることもあるので、それでいいと思う。 ・年長児は学童クラブとの交流会がある。(2)	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	1	4		自立支援協議会、多摩市児童連絡会には、施設長が参加している。その他のこども関連は、委託元が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	0	・送迎の時などに、日々の様子を伝えたり、伺ったりしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	2	3	・パパ会を開催し、父親の育児参加を促している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1		0	・なされていると思う。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	1	1	・全スタッフが目を通せるように、その時のやりとりの様子など共有している。 ・なされていると思う。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	1	・面談を、希望時にすることができる。 ・連絡帳、送迎の際に相談があれば、時間を作り対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	0	0	・パパ会の時は男性スタッフのみで、より話しやすい環境にしている。必要時、スタッフ間でその後、情報共有している。 ・パパ会やイベント後の会食などを開催している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	・月に1回便りを発行している。	

児童発達支援評価表

事業所向け

- ★ 配布14名（常勤・非常勤、事務員含む）、回収12名、回答率86%
★ 勤続平均4.5年

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者への説明責任等	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	1	1	・名前の書いてある資料などは、持ち帰り禁止とアナウンスがある。鍵付きキャビネットにて保管している。 ・職員の意識にかなり差があるように感じる。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	7	2	・地域住民は招待していないが、地域住民に理解を深めてもらえる様、何をしているかを広報誌などでもう少しアピールしていいと思う。 ・あまりないかもしれない。	個人情報保護のため、不特定の方を室内に招くことはできないと委託元より言われている。 ひまわり便りは個人情報が記載されているため、正夢通信を受付等においても良いかもしれない。（多摩市の許可が必要）
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	1	0	・マニュアルは存在しているが、訓練は未実施。（緊急時、防犯） ・変更があった時は、アナウンス等している。 ・月に1回の避難訓練をしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	0	・その都度振り返りをし、次に繋げている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	0	0	・看護師が把握し、必要字はアナウンス等をしている。 ・なされていると思う。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	0	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1	0	・毎日の振り返りで、その日のことを共有している。（2） ・ファイルもいつでも見られる。 ・その日の振り返りのみ	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0	・虐待について、研修や資料を見る機会がある。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	4	4	・身体拘束について、研修で学ぶ機会がある。実際に実施したことがないため、わからない。 ・まだそのような事例がない。 ・記載はない。	そもそも、身体拘束を必要とするお子さんがいない。